

大震災・復興ニュース（第11報）

平成23年6月30日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

宮城県内で採取した水産物について、下記のとおり東北大学の協力を得て放射性物質の測定をしたので、その結果をお知らせします。

- 1 測定年月日 平成23年6月27日
- 2 測定分析機関 東北大学（東北大学への協力依頼による）
- 3 測定結果 国が定めた暫定規制値を下回り、安全性に問題がないことが確認された。

放射性物質の値は採取日における値を示す。

水産物（採取日 平成23年6月23日）

（単位：ベクレル/kg）

種別	採取場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム
シライトマキバイ（ツブ）	志津川沖	不検出	不検出
ミスダコ	志津川沖	不検出	不検出

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性ヨウ素の暫定規制値 2,000 ベクレル/kg

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性セシウムの暫定規制値 500 ベクレル/kg

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

県管理漁港及び漁場の啓開(けいかい)作業状況

- ・県管理漁港の航路・泊地内の漁具や沈没した船舶・自動車等支障物の撤去作業は、塩釜漁港越の浦地区への航路の啓開作業は、7月4日から作業予定。

- ・漁場の啓開作業は、

5月23日から松島湾で着手し、潮位の関係から七ヶ浜沖と並行して2台の起重機船で引き続き作業を行っている。

バックホウ台船は、6月14日から松島湾の東名地区で引き続き作業を行っている。

また、仙台湾漁場へは6月28日から起重機船にて支障物撤去作業に着手した。

水陸両用バックホウの組み立て作業を浜田漁港にて6月29日から行っており、メンテナンス完了後7月4日から松島湾内での作業に着手予定。

仙台湾の測量作業は、6割程度完了。今後引き続き残りの漁場の調査を実施していく。

漁港の応急復旧状況

- ・荒浜漁港の海岸堤防の応急工事については、阿武隈川河口から南側約900m区間を1次応急工事として大型土のうによる仮締切堤を4月27日から着工し、900m区間の作業は完了している。

また、決壊している堤防2箇所については、大型土のうを3段積みで11日に完了した。

- ・荒浜漁港南導流堤基部の決壊箇所の閉塞工事については、現在工事用車輛進入のための仮設道路工

事を実施するため大型土のうを作成中。

- ・磯崎漁港長田地区の臨港道路の舗装補修等については、7月初旬に実施予定



荒浜漁港海岸応急工事施工状況

<トピックス>

災害復興に向けた打合せ会

6月28日(火)に当部会議室において、県漁協復興対策室の担当者及び管内の漁協支所の支所長さん方が集まり、漁港漁場の啓開作業、養殖施設の災害復旧事業、各支所の取り組みなどについて、報告と意見交換が行われた。

各支所毎に情報の寡多も見られ、情報の共有化が必要であることから、今後も適宜開催していくこととなった。

災害派遣について

兵庫県からの2人に続き、大分県から岡上(おかがみ)信之介技師が、漁港の災害復旧の応援のため当部へ派遣されました。

「大分県から災害支援に来ました『岡上(おかがみ)』です。ニュースでしか見たことの無かった被災現場を目の当たりにして言葉が出ませんでした。大分県職員として『宮城県民のために!』を常に考え、1人でも多く、被災者の方の笑顔を取り戻すために精一杯頑張りたいと思います。」



会議風景



岡上信之介さん